



そろそろ、桜の開花の便りがきかれるころとなりました。

マレーシアではスパイ映画かというような事件が起こっています。普通生活には関係ないと思いたいのですが・・・。

大牟田市政100年と記念する祝賀行事も滞りなく催されています。

もう春です。Jリーグ・WBC野球・4横綱体制の大相撲・春の選抜高校野球とウキウキする躍動感が沸いてくるような気分です。

第234回ギャラリー展は、再考・唐津焼展を開催します。

唐津焼の作品15点を展示いたします。

唐津焼は九州の唐津方面で焼かれた陶器の総称で焼物好きにはたまらない種類の器です。

もともとは桃山時代から焼かれていた器で北波多の岸岳窯などの複数の窯で焼かれていました。特に豊臣秀吉の朝鮮出兵の折、名護屋城が築かれたころは数十万の人々が集結しました。その生活必需品の器として生産するため、唐津方面に沢山の窯が作られたといわれています。

唐津焼には沢山の種類が見られますが今回は、粉引き、織部、黒唐津など珍しい種類の作品を展示しました。絵付けあり彫ありさらに釉薬の変化など姿の多様さも千差万別、見る人を魅惑してやみません。

これを機会に唐津焼の魅力を再考してみたいはいかがでしょうか。夢が膨らむこと間違いなしです。お楽しみください。